

まちを知る 議会を知る

みのかも 市議会 だより

2021.11.1
No.187

令和3年市議会第1回臨時会

議会構成を決定

議長に渡辺義昌議員、副議長に酒向信幸議員

令和3年市議会第3回定例会

令和2年度一般会計ほか各会計決算を認定
議会による事業評価を実施、市長に提言

リニューアルオープンした文化会館(かも〜)の屋外にある
ウォーカブルブリッジから眺める木曾川

主な内容

- ◆臨時会の審議結果 …… 2P
- ◆定例会の審議結果 …… 3~4P
- ◆議会日誌
議会を傍聴しました …… 5P
- ◆決算審査の概要 …… 6~7P
- ◆委員会審査の概要 …… 8~9P
- ◆市政一般に対する質問と答弁
…… 10~17P
- ◆活動ピックアップ・お知らせ
…… 18P

（臨時会の審議結果）

令和3年

第1回

臨時会

10月20日に、市議会第1回臨時会を開催しました。

一般会計補正予算の議案の審議、監査委員の選任、各常任委員会委員の選任などを行い閉会しました。

新たに議長には、渡辺義昌議員、副議長には、酒向信幸議員が当選されました。また、議会選出の監査委員については、新たに渡辺孝男議員が選任されました。



議長
渡辺 義昌



副議長
酒向 信幸

平素より市議会に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

このたびの臨時会におきまして、議長、副議長に就任いたしました。多様な意見を集約し、公正かつ円滑な議会運営に全力を傾けて取り組んでまいる所存です。

市民の皆様におかれましては、引き続き議会へご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第1回臨時会において、各委員会の構成が下記のとおり変更されました。

- ◆議会運営委員会 委員長：牧田 秀憲 副委員長：山田 栄
委員：永田 徳男 渡辺 孝男 片桐 美良
- ◆文教民生常任委員会 委員長：柘植 宏一 副委員長：片桐 美良
委員：田口 智子 酒向 信幸 牧田 秀憲
高井 厚 金井 文敏 山田 栄
- ◆企画建設常任委員会 委員長：森 弓子 副委員長：坂井 文好
委員：永田 徳男 渡辺 孝男 村瀬 正樹
渡辺 義昌 前田 孝 森 厚夫

◆特別委員会 下記のとおり、新たに委員長が就任されました。

- ・予算決算特別委員会 委員長：酒向信幸

議会選出監査委員



新たに選任された
渡辺 孝男議員

議案の審議結果

議案番号	議案名	主な内容	結果
議第61号	令和3年度市一般会計補正予算（第9号）	5,239万7千円の増額、予算総額は246億9,181万9千円	原案可決（全会一致）
議第62号	議長辞職の件	議長の辞職を許可するもの	許可（全会一致）
選第1号	議長選挙	議長を決める選挙	渡辺義昌議員 当選
選第2号	副議長選挙	副議長を決める選挙	酒向信幸議員 当選
議第63号	美濃加茂市監査委員の選任について	監査委員の辞職に伴い、新たに渡辺孝男議員を選任することの同意	原案同意（全会一致）
選第3号	美濃加茂市・富加中学校組合議会議員の選挙	組合議会議員の辞職に伴う選挙	柘植宏一議員 当選 金井文敏議員 当選

（定例会の審議結果）

令和3年
第3回

定例会

令和3年9月1日に美濃加茂市議会第3回定例会が開会され、会期を9月24日までの24日間と決定しました。その後、2億1,431万5千円を増額する令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第7号）を含む33案件（請願1件含む）を上程し、提案説明を行いました。そのうち、美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任について（議第57号）を含む計7議案については、質疑、採決まで行いました。また、前年度の一般会計、特別会計ほか、歳入歳出決算認定議案については、提案説明の後、監査委員が監査報告を行い、請願1件については委員会付託し、散会しました。

第24日目（最終日）は、初日に採決した7議案を除く26議案について、各常任委員会及び予算決算特別委員会の委員長報告の後、討論（反対）、採決を行い、定例会を閉会しました。

議案 クローズアップ

承第14号 専決処分の承認を求めることについて 令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第5号） 予防接種事業（2,274万4千円）

〈小児インフルエンザワクチン接種費用の一部助成〉

◆助成期間

令和3年10月1日（金）～令和3年12月31日（金）

◆助成対象者

対象者：美濃加茂市に住民票のある、生後6か月から中学校3年生までのお子さま

◆助成回数

- ①生後6か月～13歳未満：2回
- ②13歳以上～中学校3年生：1回

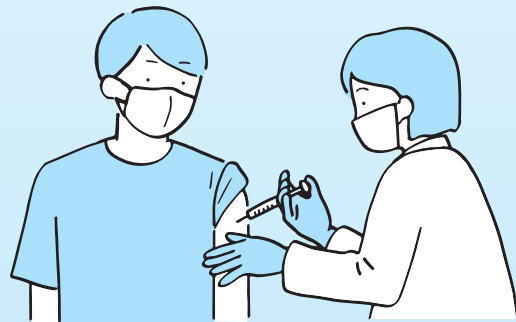
◆助成額

接種1回につき2,000円

◆助成方法

美濃加茂市内指定医療機関にて接種し、接種費用から2,000円を差し引いた金額を医療機関に支払うこと。

※委託医療機関以外でインフルエンザ予防接種を受けられた場合は、全額自己負担となります。



（定例会の審議結果）

議案の審議結果

全会一致で可決された議案

議案番号	議案名	主な内容
承第12号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	条例の制定根拠である法律の一部改正に伴い、引用している条項等にずれが生じたため所要の改正を行ったもの
承第13号	専決処分の承認を求めることについて 美濃加茂市手数料条例の一部を改正する条例について	個人番号カードの再交付手数料が市の歳入ではなく地方公共団体情報システム機構の収入とされたことに伴い手数料から削ったもの
承第14号	専決処分の承認を求めることについて 令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第5号）について	7,632万9千円の増額、予算総額は243億6,400万2千円
承第15号	専決処分の承認を求めることについて 令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第6号）について	3,500万円の増額、予算総額は243億9,900万2千円
議第46号	みのかも文化の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	情報学習室を防災学習の場として整備し、許可施設から一般施設へと広く開放するために所要の改正を行うもの
議第47号	美濃加茂市企業誘致条例の一部を改正する条例について	奨励措置の対象として医療業及び保健衛生に関する事業を加えるもの
議第48号	美濃加茂市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	古井第一保育園、古井第二保育園及び蜂屋保育園をあじさい保育園に統廃合することに伴い所要の改正を行うもの
議第49号	美濃加茂市子育て支援拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	地域子育て支援拠点（にじいろ広場）をみのかも健康プラザに設置することに伴い、所要の改正を行うもの
議第50号	美濃加茂市保健センター設置条例の一部を改正する条例について	保健センターを移転することに伴い所要の改正を行うもの
議第51号	美濃加茂市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について	特定ごみに関し、可茂管内で統一した額の処理料金を定めることに伴い、新たに手数料を規定するもの
議第52号	令和3年度美濃加茂市一般会計補正予算（第7号）	2億1,431万5千円の増額、予算総額は246億1,331万7千円
議第53号	令和3年度美濃加茂市国民健康保険会計補正予算（第1号）	6,754万円の増額、予算総額は52億859万4千円
議第54号	令和3年度美濃加茂市介護保険会計補正予算（第1号）	5,441万1千円の増額、予算総額は40億2,913万6千円
議第55号	財産の取得について（美濃加茂市新保健センター等庁用備品）	条例の規定により議会の議決を付すもの
議第56号	市道路線の認定について	市道本郷702号線外3路線の認定
議第57号	美濃加茂市固定資産評価審査委員会の委員の選任について	任期満了に伴う後任委員の選任（宮口誠氏 新任）
議第58号	美濃加茂市教育委員会の委員の任命について	任期満了に伴う後任委員の任命（武田由美氏 再任）
議第59号	コロナ禍による厳しい財政状況に対処し地方税財源の充実を求める意見書について	令和4年度の地方税制改正について国へ要望を求めるもの
議第60号	出産育児一時金の増額を求める意見書について	出産育児一時金の引き上げについて国へ要望を求めるもの
諮第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（伊藤左江氏 再任）
諮第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（木澤孝彦氏 新任）
諮第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	任期満了に伴う後任委員の推薦（横山俊二氏 新任）
認第5号	令和2年度美濃加茂市介護認定・障がい者自立支援認定審査会会計歳入歳出決算認定について	歳入3,244万3,153円 歳出3,150万9,352円
認第6号	令和2年度美濃加茂市古井財産区会計歳入歳出決算認定について	歳入158万9,924円 歳出83万9,056円
認第7号	令和2年度美濃加茂市山之上財産区会計歳入歳出決算認定について	歳入122万1,761円 歳出72万4,164円
認第8号	令和2年度美濃加茂市水道事業会計決算認定について	(収益的収支) 収入16億3,200万5,720円 支出14億7,773万4,857円 (資本的収支) 収入4億5,704万3,476円 支出6億1,422万4,940円
認第9号	令和2年度美濃加茂市下水道事業会計決算認定について	(収益的収支) 収入23億685万139円 支出21億8,798万6,685円 (資本的収支) 収入14億7,346万5,577円 支出21億961万9,809円

議案の審議結果

賛否の分かれた議案

議案番号	議案名	議決結果	議員名															
			永田徳男	田口智子	坂井文好	酒向信幸	渡辺孝男	牧田秀憲	渡辺義昌	村瀬正樹	高井厚	前田孝	金井文敏	柘植宏一	片桐美良	森弓子	森厚夫	山田栄
議第45号	美濃加茂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
※請第2号	小中学校の女子トイレ個室の生理用品の設置を求める請願について	趣旨採択	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認第1号	令和2年度美濃加茂市一般会計歳入歳出決算認定について	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認第2号	令和2年度美濃加茂市国民健康保険会計歳入歳出決算認定について 歳入49億2,940万1,210円 歳出47億8,433万7,331円	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認第3号	令和2年度美濃加茂市介護保険会計歳入歳出決算認定について 歳入39億7,994万6,489円 歳出38億9,425万2,401円	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
認第4号	令和2年度美濃加茂市後期高齢者医療会計歳入歳出決算認定について 歳入6億5,686万489円 歳出6億2,228万7,176円	◎	○	○	○	○	○	-	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

※請第2号については、委員会の「趣旨採択」との審査に対する賛否。

（定例会の審議結果）

趣旨採択された請願

請第2号 小中学校の女子トイレ個室に生理用品の設置を求める請願について

【請願趣旨】

私たちの会では、今年3月、教育委員会に生理用品の配布と相談環境の整備を求める要請をし、その後、教育長との面談をしました。その中で、市内の学校現場の状況をお話ししていただき、子どもたちの為に様々なご配慮をいただいていることを知り、大変嬉しく思いました。

さて、政府がまとめた2021年度からの第5次男女共同参画基本計画では、「生涯にわたる健康支援」として、特に女性の心身の状態は年代によって大きく変化する特性から「リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」の視点が重要視されています。その中でも、生涯にわたる健康の基盤となる心身を形成する10～20代前半の重要な時期に対して、月経を含めた保健の充実の推進が明記されています。

子どもたちが学校で生理用品が必要になり持ち合わせていない時、保健室に行きづらいという声もあります。生理で萎縮する子どももあります。生理用品は、贅沢品ではなく、必需品です。一部の商業施設のトイレ個室には既に無料で置かれています。学校でこそ、トイレットペーパーと同じように、当たり前前にトイレに常備してほしいと思います。

コロナ禍で「生理の貧困」は、全国的な問題になり、岐阜県は、7月に県立学校のトイレへの生理用品の設置を決めました。海津市では、市立小中学校の女子トイレに生理用品を配置すると、8月13日に新聞で報道されました。

美濃加茂市でも、児童・生徒が安心して通学でき、健康で衛生的な生活を保障されるために、以下の通り請願いたします。

【請願項目】

1. 児童・生徒が安心して通学でき、健康で衛生的な生活を保障するために、学校施設の女子トイレ個室に、適切な返却不要の生理用品を設置してください。

◆趣旨採択とは…

請願について、願意は妥当であるが、実現性の面で確信がもてないといった場合に、不採択とすることもできないとしてとられる請願に対する決定の方法のこと。

(地方議会運営辞典より抜粋)

議 会 日 誌 (主なもの)

8月	2日 国道41号美濃加茂・下呂間強靱化推進同盟会定期総会 6日 関・美濃加茂・郡上・下呂・富加道路網整備促進期成同盟会 名濃バイパス建設促進期成同盟会総会 8日 あじさいまつり写真コンクール 24日 議会運営委員会 予算決算特別委員会 (抽出事業説明会) 30日 議会運営委員会	28日 議会運営委員会 予算決算特別委員会 (事業評価) 新庁舎建設特別委員会 議会だより編集委員会	
9月	1日 市議会第3回定例会 (～9月24日) 議会だより編集委員会 14日 文化会館内覧会 17日 シルバー人材センター要望 24日 予算決算特別委員会 (事業評価)	10月 8日 議会による事業評価に基づく提言 (市長へ提出) 新庁舎建設特別委員会 議会改革特別委員会 11日 議会だより編集委員会 19日 議会だより編集委員会 20日 市議会第1回臨時会 新保健センター視察	

議会を傍聴しました

今回の定例会を傍聴された方からいただいた主なご意見を掲載します。

- 多くの議案提出の項に目を通し、市政の役割が多いことに気が付きました。来年からオープンする新保健センターに注目したいと思います。
- 市長さんへの1期4年間の取組みの反省がなされました。
就任後に掲げられた「堂々、美濃加茂。」の考えは素晴らしいと思います。活力、安心、教育、交流を老後になっても忘れないようにしたいと思います。
- 今回の議会も特に新庁舎建設関連（防災関連含む）及び新型コロナウイルス感染症対策に関心を持ち傍聴に参加させていただきました。市民の皆さんもぜひ傍聴してください。市政に関心を持ちましょう。議員の皆さん、市職員の皆さん、新庁舎問題、コロナ対策ご苦労さまです。第6次総合計画、SDGsセミナー計画をお願いします。

（ 決算審査の概要 ）

決算審査の概要

事業の進捗や予算執行の状況、議会の予算審議の趣旨が反映されているかなど、適正かつ効率的であったか慎重にチェックしました。また、第6次総合計画に掲げる事業について、議会として事業評価を実施し、市長に提言を行いました（詳細は18ページ）。

《市一般会計予算》

◆歳入

問 収入未済額への対応は。

答 コロナ対策により、法人市民税の特例の納税猶予が地方税法で定められている。令和2年度の申請件数は延べ540件であり、猶予期間が過ぎたものについては納付いただいているところである。固定資産税の過年度分については、財産調査により差し押さえ等積極的に行っているが、例年同様の徴収率となっている。

問 学校給食事業収入の状況は。

答 令和2年度の収納率は現年度分で99%を超えており、過年度分を含めると98%台であった。

◆歳出

問 あい愛バス運行事業の実績は。

答 運賃収入や補助金を差し引いた市の負担額を乗車人員で割った1,959円が1人当たりのコストである。コロナ感染症対策については、手指消毒液の設置、運行時間の合間に車内の消毒、注意喚起などを行っている。

問 移住して暮らし始めるための支援事業の実績は。

答 全体では100件の相談件数であり、そのうち首都圏からの相談は20件程度であった。空き家バンクを活用して神奈川県から移住した方もいたが、補助要件を満たさなかったため、不執行となった。

問 市民活動サポートセンター事業の運営状況は。

答 コロナ禍により、市民活動、とりわけ高齢者の方々の活動が停滞している。オンライン化を進め、地域の活性化を推進したい。公設民営化については、費用面の課題などがあるが、今後も検討していきたい。

問 健寿会員数及び敬老事業の参加人数は。

答 健寿会員は1,542名である。敬老事業はコロナ禍のため、従来の集合形式ではなく記念品の贈呈という形にした。対象人数は5,244名である。

問 ごみ収集事業の決算額の増加理由は。

答 コロナ過による家庭ごみの量の増加と、ごみ袋の作成等の費用の増加によるものである。

問 農業産地構造改革支援事業の補助金の使途及びその効果は。

答 スマート農業技術実証農場設置事業では、スマートコンバインを導入し、配車、乾燥作業の効率化により、稲刈り等の作業がスピード化し、圃場の収量、追肥作業の可否等も把握でき、今後の稲作の効率化に有効であった。スマート農業技術導入支援事業では、ドローンとトラクターの導入、美濃加茂市元気な農業産地支援事業は、フルーツ用の乾燥機や、梨の収穫の際に使用するはさみを導入し、成果を上げている。

問 加茂川総合内水対策事業の雨水貯留施設の貯留容量とその効果は。

答 合計で7,810立方メートルである。平成23年度の台風による大雨で、加茂川が越水したための対策で、その当時の雨量でも、床上浸水等が起きないように調整池として設置した。なお、それだけでは万全ではないため、加茂川排水機場のポンプや当該地域での建築時には地盤を上げるなど、トータルで対策を講じている。



加茂川排水機場

問 美濃太田駅周辺市街地再開発事業の委託料の実績は。

答 基本計画策定業務については、前年度に作成した基本構想に基づき、具体的に市街地再開発事業を進める際の可能性調査として、市街地再開発の区域を検討し、規模や可能性を調査したものである。アドバイス業務については、本市では事例のない組合施行の市街地再開発事業であり、事業化の可能性の調査段階から、同様の事業に関する経験が豊富で業務実績のある業者に委託しているもので、市の立場に立って、基本計画等の策定業務に適正な管理、指

決算審査の概要

示をするための支援をいただいている。その他、基本計画策定だけでなく、協議会への事業の細かな説明や、市に対する事業進捗に向けた支援など総合的な支援をいただくものである。

空家等対策事業の状況は。

指導を要するE判定、F判定の空き家が30件ほどあり、文書による指導をしている。その他、住民からの情報提供により現地確認の上、所有者に対し電話ないし文書での指導も行っている。

ヤギさん除草事業の事業費が増加した理由と効果は。

除草の回数が増えたためである。試算では、ヤギを使用することにより、通常の委託料の3分の2程度に抑えられる。



ヤギさん除草隊

地域防災力強化事業の文化の森非常用発電機設置工事の詳細は。

契約金額は6,127万円である。令和2年度に設計を委託し、工事を発注した。契約約款の規定により前払い金として2,450万円支出し、繰越事業として今年度中に完成するものである。

学外講師派遣推進事業の報償費の実績は

令和2年度は、極力外部の人を中に入れないようにしたため、前年度より時間数が減少した。感染症対策については、緊急事態宣言発令時には、外部

の方にはできるだけ御遠慮いただき、それ以外の期間は手指消毒、検温及び体調管理を徹底している。

《市介護保険会計》

生活支援体制整備事業の不用額の詳細と生活支援体制整備協議体の立ち上げの実績及び見通しは。

生活支援コーディネーター業務委託は社会福祉協議会と契約していたが、コロナの影響により事業ができないため減額した。第2層の協議体は、令和2年度に伊深地区と下米田地区で動き出した。今年度は、蜂屋地区と山之上地区での立ち上げに向け、協議を進めている。

《市水道事業会計》

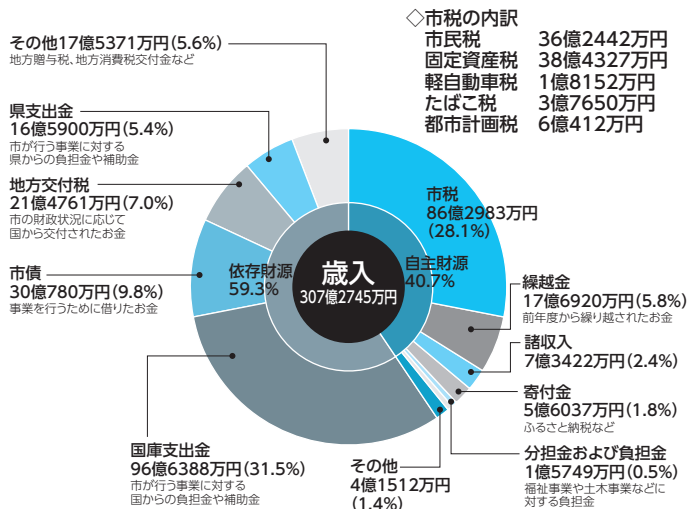
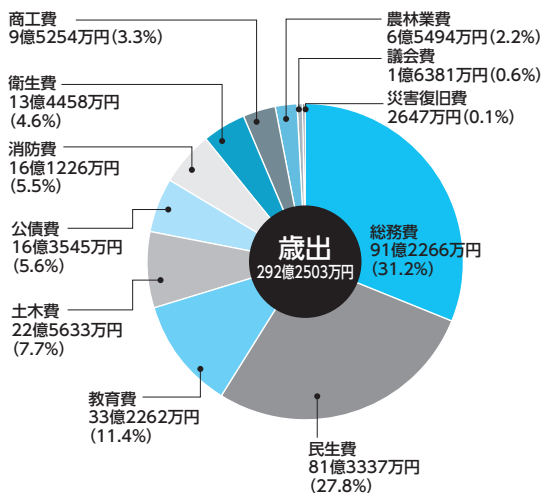
令和2年度の森山浄水場の取水停止の状況は。

7月の飛騨・下呂地域の大雨により濁度が急激に上昇し、流速も早かったため、運転を停止した。その後、約3週間は、取水を再開しても断続的に高濁度になったので、県営水道から増量供給を受け24時間体制での運用を続けた。

安定供給に向けた給水体制の検討は。

性能面では、県営水道の山之上浄水場は、森山浄水場より処理能力は、はるかに高い。コスト面では、年間の森山浄水場の供給水量を、県営水道から購入するよう切り替えた場合、購入費の方が費用が掛かる。しかしながら、県営水道からの購入に切り替えることによって、断水のリスクを相当軽減できることや、新たな浄水場の建設に将来費用が掛かることなどを勘案すると、様々な検討が必要である。

令和2年度 一般会計の決算状況



（委員会審査の概要）

委員会審査の概要

本会議で付託された議案について、各常任委員会にて詳細を審査しました。

※ 《 》は議案名、◆は主な内容、（ ）は補正金額

文教民生常任委員会

《令和3年度市一般会計補正予算（第5号）》

◆予防接種事業（2,274万4千円）

問 小児インフルエンザワクチン接種について、2回目接種についても、期限までに接種を完了しないと助成されないのか。

答 2回目の接種についても、期限である12月31日までに接種を完了しないと助成されない。

問 企業等の福利厚生がある場合でも市の助成を受けることができるのか。

答 市からの助成を受けることができる。流れとしては、接種した医療機関に対して、接種費用から市助成金を差し引いた差額分を支払い、その領収書を企業等へ提出することで福利厚生による助成を受けることができる。

《市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について》

問 学校評議員が学校運営協議会のメンバーになった場合、報酬は学校評議員会と学校運営協議会のそれぞれから受け取る形になるのか。

答 学校評議員会が学校運営協議会へ形を変えるため、学校評議員会は廃止となり、それぞれから報酬を支払われることはない。

《みのかも文化の森の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》

問 情報学習室の今後の利用は。

答 防災教育を学べるスペースとしての活用を検討しており、災害史やハザードマップ等のパネル展示や体験スペースを設けていきたい。また、地域の魅力を再発見できるような場としても活用していきたい。ただし、緊急時に本庁舎の災害対策本部が使用できない場合、その代替施設として、災害対策本部が設置されるため、部屋の3分の2を展示・体験スペース、3分の1は災害対策本部設置に対応するスペースとして確保していきたい。

《市保育園の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》

問 保育士の確保状況は。

答 あじさい保育園については、古井第一保育園、古井第二保育園、蜂屋保育園の3園が統合するため、3園の保育士及び他の公立の保育士の異動で配置ができる。私立である蜂友学舎保育園については、建設は以前から計画されているため、保育士の採用は予定どおりと伺っている。また、蜂屋保育園の会計年度任用職員が一部、蜂友学舎保育園に異動する予定であるため、保育士の確保は順調に進んでいる。



あじさい保育園（完成イメージ図）

《市子育て支援拠点施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について》

問 ほたるの広場とにじいろ広場のそれぞれの役割についてどのように考えるのか。

答 ほたるの広場は、地域の方々が週に1回喫茶を行うなど、地域の方との交流の場として役割を担ってきた。にじいろ広場は、健康にスポットを当てて、健康に関する講座や教室を行ってきたい。

《市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例について》

問 特定ごみ1品目につき、10キロで500円の手数料がかかるが、15キロだと手数料はいくらか。

答 10キロ単位で手数料がかかる設定であるため、15キロだと1,000円の手数料が発生するものである。

問 発生した手数料以上の費用がかかる場合はあるのか。

答 手数料の中には、品物の預かり賃、運搬費、処

（委員会審査の概要）

理費が含まれているため、基本的にその他の費用が発生しないと認識している。

《小中学校の女子トイレ個室に生理用品の設置を求める請願について》

生理用品を設置することに関しては賛同するが、小学校低学年の女子トイレにまで設置する必要はないのではないか。

また、トイレに設置するだけでは生徒が置かれた状況を把握する機会がなく、総合的な性教育を行うためにも保健室に常備し、保健室に行きやすい環境を整備することが必要であると考えます。

企画建設常任委員会

《美濃加茂市手数料条例の一部を改正する条例について》

問 地方公共団体情報システム機構の詳細は。

答 マイナンバーカードの発行や総合行政ネットワークで地方自治体間の情報を共有するなど、各種システムの運用と行政のサービスを提供する機関である。

《令和3年度市一般会計補正予算（第5号）》

◆二酸化炭素排出抑制対策事業（991万1千円）

問 事業の委託先はどのように決めたのか。

答 再生可能エネルギーの導入可能性調査の実績がある会社をプロポーザル方式で選定し、契約を締結したものである。

《令和3年度市一般会計補正予算（第6号）》

◆ローカルSDGs推進事業（3,500万円）

問 委託業務の内訳は。

答 ソーシャルビジネス事業体の設立として約600万円、市民及び市内事業者の意見を集約できるまちづくり提案システムの構築として約1,600万円、普及啓発及び人材育成に約500万円、観光業・農林業・健康など個別事業のブランディングに約600万円など、総額で3,300万円を見込んでいる。

《市企業誘致条例の一部を改正する条例について》

問 奨励措置の詳細は。

答 第6次総合計画のビジョンであるウォークアブルシティ美濃加茂の心・体・社会の健康を実現するために、奨励対象業種に新たに医療業・保健衛生を加

えた。

《令和3年度市一般会計補正予算（第7号）》

◆交通安全対策事業（300万円）

問 路面を着色する際の色の分け方は。

答 警察からの指導や指針に沿い、交差点など危険地帯には赤色系統、通学路には緑色系統などの着色を行っている。

問 指定要件で投資固定資産が3億円以上あるが、設定が高くないか。

答 医療業については、医療機器等、固定資産税等の償却資産を鑑みると、ある程度一定の投資が起こっており、要件を満たす企業は存在すると考える。

◆イントラネット事業（607万9千円）

問 タブレットパソコンの購入台数の根拠は。

答 テレビ会議等で使用することを目的として、50台の購入を予定している。

◆緊急工事委託事業（1億1,520万円）

問 工事の内訳は。

答 令和2年の自治会要望によるもので、262件の要望をいただいた。そのうち、舗装に関する内容が100件であり、その中から19件を選定して工事を行うものである。

◆災害時情報伝達体制確立事業（775万円）

問 MCAアドバンス端末はどのように運用されるのか。

答 無線機のような端末を災害対策本部と応急復旧班や情報収集班など、現場活動に優先的な班に配布して運用する予定である。

本会議の様子は、

議会中継でチェック！ ▶

市議会本会議の様子をインターネットで配信しています。議会の開催日にはライブ中継も行っています。パソコン、スマートフォンやタブレット端末でぜひご視聴ください。

■美濃加茂市議会 議会中継 アドレス
<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>



美濃加茂市議会 議会中継

検索

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）

市政一般に対する質問と答弁

15人の議員が登場し、市政全般に対して、事業の執行状況や将来の方針などについて質問を行いました。
(掲載順は質問を行った順番)

掲載する内容は、各議員が行った質問と答弁の一部を要約したもので、議員から提出された原文を尊重して掲載しています。ご不明な点は、各議員にお尋ねください。

また、全ての質問と答弁は、「美濃加茂市議会 議会中継」にて配信していますので、こちらをご覧ください。

なお、議会の公式な記録は、後日公開される会議録にてご確認ください。



牧田秀憲議長

■ 美濃加茂市議会 議会中継

<https://smart.discussvision.net/smart/tenant/minokamo/WebView/rd/council.html>

美濃加茂市議会 議会中継

検索

議会中継



■ 視聴方法 トップページ ▶ 会議名一覧 ▶ 令和3年第3回定例会 ▶ 9月8日・9日・10日 一般質問
■ 会議録検索システム <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/minokamo/SpTop.html>



酒向信幸 議員

新庁舎とまちづくりについて

問 市街地再開発と庁舎建設は一体化の考えがあるが、美濃太田駅南地区の「にぎわい」の在り方については、駅北地区の「にぎわい」とは違うものと認識している。具体的なイメージと可能性について伺う。

答 美濃太田駅南地区のまちづくりは、駅北地区とは違うものと考えている。まちづくりのテーマは、「健康的な美濃加茂市の顔となるまち」、施策のキーワードは「食べる」「歩く」「住む」とし、それぞれの魅力を向上させる様々な取り組みを推進することでにぎわいを創出、継続できるまちを目指す。

駅北地区とは差別化を考えた店舗展開や、仕事や暮らしに必要な都市機能の整備などによって、経済や人の交流の活性化、住環境の向上などの効果を得るとともに、より豊かさや快適性を実感できる地域にしたいと考えている。市街地再開発事業で整備される施設も新庁舎も都市機能の1つとしてまちづく

りを担うと考えている。

問 各地区の拠点が整備され、まちづくりが進んでいく。このことを踏まえて庁舎の機能、役割を伺う。

答 各地区のサテライト拠点が充実し、自治体DX*がより一層推進されることによって、本庁舎における住民票等の申請交付業務は減少することが推察される。

さらに、立地適正化計画に定める都市機能誘導区域において、蜂屋南地区が医療拠点として、古井駅周辺地区が文教交流拠点として機能することにより、都市拠点である美濃太田駅周辺地区に整備された新庁舎は、全市を対象とした行政サービスや、政策を推進する機能、全市的なまちづくりの課題について、市民と相談しながら解決をはかる役割、防災拠点としての役割などが大きくなると考えている。

こうしたことにより、新庁舎では申請交付窓口が減少し、プライバシーの確保に配慮した寄り添い型の相談窓口が増えると思われる。

*自治体DX

(Digital Transformation) …自治体と住民がデジタル技術を活用して、住民本位の行政、地域、社会を再構築するプロセス。ICT（通信技術を活用したコミュニケーション）の浸透が、人々の生活をより良い方向に変化させること。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



山田 栄 議員

公園・街路について

問 防犯灯・街路灯のLED化、太陽光発電の活用状況は。

答 防犯灯については、平成26年度にすべてLED化し、現在4,581基設置している。今後、新たに設置する防犯灯についてもLED灯具を設置する。街路灯は、市内に354基設置しており、うち9基がLED化となっている。

太陽光発電による照明灯については、前平公園などに6基設置している。今後の太陽光発電の活用は総合的に判断していく。

問 公園内の設置トイレの洋式化の状況は。

答 トイレが設置してある公園は18か所であり、そのうち洋式便器の無い公園は11か所ある。現在、長寿命化計画に基づき再整備をしており、今年度は井戸畑児童公園に洋式トイレを設置する。その他の公園についても、洋式便器やユニバーサルデザインの考えに基づき改修していく。



柘植宏一 議員

学校運営協議会(コミュニティスクール)について

問 推進の理由は。

答 今日、学校安全の確保など学校を取り巻く課題はますます複雑化、困難化しており、こうした課題を解決し、子どもたちの生きる力を育むためには、教職員のみならず、地域住民や保護者等の適切な支援を得ながら学校運営を図っていく必要がある。

問 ビジョンの共有は。

答 今後は、運営協議会で学校の運営方針を承認することになり、学校・家庭・地域としてどのような子どもに育てたいか、将来を担う子どもたちに育む力はどんなことかなどについて「熟議」の機会を設け、互いに確認し合うことが重要である。

問 学校運営への必要な支援は。

答 学校運営協議会は、学校運営に関する基本方針の承認等を通じて、学校の運営について協議することとなっている。課題を解決するための地域住民等

保育園について

問 公立保育園の現状と民間保育事業者との連携状況は。

答 公立保育園と民間保育事業者とは「美濃加茂市保育研究協議会」を組織し、公開保育などを通して、保育士の資質向上や様々な課題解決のため、お互いの保育士が連携を深めている。

また、民間保育事業者の代表もメンバーである「子ども子育て支援会議」を定期的に開催し、保育に対する情報交換、情報共有を行うことで、地域の子育て機能の強化を図っている。

問 公立保育園を3か所に絞ることによる利用者(保護者)のメリットは。

答 保育園の民営化によるメリットとしては、

- ①英語教育やスイミングなど、特色のある保育の取り組みに期待が持てること
- ②バスによる送迎など通園手段の幅が広がること
- ③保育ニーズの多様化、変化に素早く対応ができること

などの保育サービスの充実が図られる。

による支援の方法や内容についても、協議会が合わせて協議を行うことが効果的である。

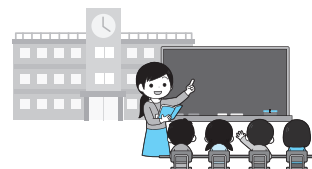
問 まちづくり協議会との連携は。

答 学校運営協議会は、地域とともにある学校づくりを目指す会であり「地域総がかりで」子どもの成長を支援していくためにも、まちづくり協議会の皆さんや地域学校協働本部の皆さんとの連携・協働が欠かせない。学校運営協議会の委員として参加いただいたり、学校教育活動でまちづくり協議会の協力を得るなど積極的に連携を取っていく。

古井まちづくり協議会について

問 古井まちづくりの協議会評価と課題は。

答 古井地区の「中間支援型」の協議会は、地域の課題を共有し、現在活動している各種団体の支援や連携、協働を促すなど、コーディネートの役割を担うもので、他のまちづくり協議会の今後の運営にも非常に参考となる取り組みであると考えられる。



（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



金井文敏 議員

プッシュ型行政サービス※について

問 対象となるサービスは。

答 市民が初めて受ける行政サービスは、例えば、妊娠・出産に伴う妊婦健診・予防接種や、離婚等によってひとり親家庭となる方への助成などは、プッシュ型行政サービスの典型的な例と言える。近い将来、このプッシュ型行政サービスが主流となってくる可能性もあり、DXの推進とともにしっかりと研究を進めていく。

加茂川の治水について

問 雨水貯留機能の向上は。

答 市では、加茂川流域における雨水排水を円滑に行うことを目的に、各地区で雨水渠の整備を計画的に実施してきた。今後も太田町北町地区などにおいて雨水排水機能の向上を図るために施設整備を検討している。

スクールソーシャルワーカーについて

問 スクールソーシャルワーカーの仕事は。

答 市町村教育委員会や校長の指揮監督のもと、「問題を抱える児童生徒が置かれた環境への働きかけ」「関係機関等とのネットワークの構築、連携・調整」「学校内におけるチーム体制の構築、支援」「保護者、教職員等に対する支援・相談・情報提供」を行う。

問 配置の検討は。

答 今後については、現在の活用状況などを鑑みて、市単独での配置ではなく、県教育委員会からの派遣制度を活用していきたいと考えている。

ごみの排出困難者について

問 市での集積場所の設置は。

答 令和3年4月の時点で、市内に893箇所のごみ集積場がある。ごみ集積所を市で設置するのではなく、ごみの排出に困っている方がある場合、個々の実情に即して、丁寧に対応していきたい。

※プッシュ型行政サービス

一人ひとりに合った、行政機関からのお知らせを表示する機能。



田口智子 議員

コミュニティスクール（学校運営協議会）について

問 本市におけるコミュニティスクールの目的、方向性は。

答 子どもたちや学校を取り巻く環境は、ますます複雑化多様化し、社会総がかりで対応する必要がある。学校・家庭・地域による一体的な取り組みが求められている中で、それを可能にするのが地域とともにある学校づくりの「コミュニティスクール」と、学校を核とした地域づくりの「地域学校協働活動」である。学校や地域の特色、これまで行ってきた活動を活かした協働活動を進めていくこととなる。

中学部活動の方向性について

問 休日の部活は2023年度以降から段階的に地域移行される予定である。平日の「学校部活動」と休日の「地域部活」それぞれの方向性は。

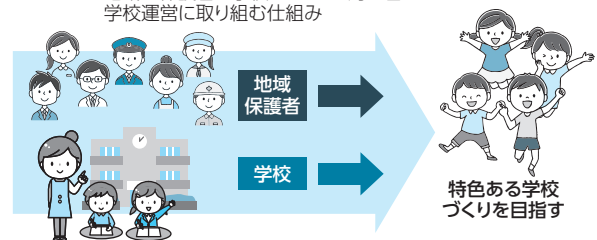
答 文部科学省による、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革」において令和5年度から段階的に休日の部活動を地域に移行していく方向性が示されている。本市においても段階的な移行を考えており、学校、保護者、スポーツ振興課、教育委員会を中心として協議し、令和5年度からの段階的な移行に備える予定である。

問 中学部活動とコミュニティスクールとの連携は。

答 令和5年度より、休日の部活動のみ地域に移行していくことになるが、一番の課題は指導者の確保となる。様々な方法が既に示され実践されているが、保護者や地域の方が指導者になることも多く、その折にはふさわしい人物を学校運営協議会にて推薦していただくことも考えられる。

コミュニティスクール（学校運営協議会）

地域や保護者と学校が、ともに力を合わせて学校運営に取り組む仕組み



（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



村瀬正樹 議員

新庁舎建設問題について

問 「第2回市民への説明会」開催の可否がコロナ禍で不透明であるが。

答 新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、なるべく早期に適切な方法で開催したいと考えている。

問 適切な時期は来ないかも知れないが、開催可否の判断基準と最終的な時期は。

答 緊急事態宣言や市内感染者の状況を考慮し、年内に20名前後の少人数で、市長が出席する複数回の市民説明会を考えている。

問 「第1回市長と語る会」で参加者から出された質問・疑問への考えや、駅前以外の候補地の調査比較は準備できているのか。

答 美濃太田駅周辺を最適地としたことについて丁寧に説明したい。また、市民の皆さんから示された課題についても答えていきたいと考えている。

4候補地の比較資料については、事業費等を含め、

最終的な精査を行っている。

問 市民説明会の前に、議員に資料等の情報を開示してほしいが。

答 準備はほぼできているので、9月中に新庁舎建設特別委員会にて説明したい。

問 開催できない場合、それに代わるものは。例えば、広報誌に特集を組み、広く市民に情報を開示すべきと考えるがどうか。

答 市民の皆様を理解いただくため、直接説明させていただくことが大切であると認識している。新庁舎整備基本計画が策定された際などに、特集記事としてお知らせすることも検討している。

問 情報開示や市民の考えの調査集約をしないで、来たる市長選に臨むことは許されないと考えるがどうか。

答 新庁舎整備事業は、市民の皆さんの関心が高い事業であると認識している。これまで積極的に広報を行いながら、市民参加のワークショップや委員会などを開催してきた。しかし、市民に十分情報が伝わっていないと反省している。今後も説明会などを通じ丁寧な説明会を行い、考え方をしっかり伝えていきたい。



片桐美良 議員

防災について

問 市内に盛り土等で土砂災害等が懸念され、指導された所はあったか。

答 市が把握している大規模盛り土造成地において、土砂災害等が懸念され指導した箇所は無かった。

問 防災拠点の捉え方は。

答 大災害は広範囲で発生するため、防災拠点の全てを一か所に集約するのではなく、広く分散型の拠点整備を進め、防災拠点の一部が万が一に被災しても、災害対応が滞らないようにと考えている。

問 会議室等の準備体制は。

答 災害対策本部は、規模にもよるが本部員と各班で業務にあたる職員総勢50名程で災害対応にあたる。20名収容の災害対策本部会議室、30名収容の各班活動室、30名収容の関係機関派遣職員調整室、40名収容の本部役員と防災関係機関派遣幹部職員との災害対応調整室が必要となる。

同報無線デジタル移行後の苦情について

問 デジタル移行後苦情が増加していないか。また、その対応は。

答 苦情の数は、前年までのアナログ放送時と比較すると増加している。内訳は、聞き取りにくくなった116件、音がうるさくなった3件、その他12件である。対応は、音量やスピーカーの角度調整等を行った。それでも改善が難しい場合には、放送を再開することが可能な子局については、放送を再開する。

同報無線等の不具合について

問 3月13日に発生した火災の個別受信機の音量不足は。

答 デジタル放送移行の際に、パソコンのプログラム設定の誤りであった。

問 6月29日に発生した太田本町の火災で、5月に発生した加茂野町での鎮火放送が2回誤報されたが。

答 1回目の放送はパソコンのプログラム設定の誤りで、2回目の誤放送は、放送用パソコンの再起動に伴い、記録してあった直近の鎮火放送を自動で読み取り誤放送してしまった。

問 7月20日の下米田町での火災では、なぜサイレンの吹鳴のみであったのか。

答 消防署の機器等の基盤損傷が原因であった。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



森 弓子 議員

新型コロナについて

問 ワクチン接種は、接種の効果や副反応などについて理解したうえで希望された方に接種するという事で進められているが、①mRNAメッセンジャーワクチンは治験中であり②重症化リスクが低い③治験薬の開発が進んでいることなどから、子ども達へのコロナワクチン接種停止を求める声に対して、市の見解は。

また、ワクチンは希望者に接種するのですが、保護者に説明をしっかりとすることが必要だと考えるがどうか。

答 現在、国内において、12歳以上に限定された子どもに接種されるワクチンは、ファイザー社のワクチンと武田モデルナ社のワクチンであり、いずれも安全性を確認した上で承認され、世界各国で接種されている。

当市では、国や県と連携して希望する全員の接種を推奨する姿勢を示し、ワクチン接種業務に取り組

んでいる。当然、「接種する、しない」については、ご自身で判断し、市としては今のところ、子ども達への接種停止という考えはない。説明については、子ども自身の判断は難しいので、保護者と一緒に副反応の影響・ワクチンの効果などしっかり理解したうえで接種していただきたい。

プラスチックごみの削減について

問 ペットボトルのふたは、業者（小森産業）へ搬入すると、1キロ10円で換算され、世界ワクチン協会や東日本大震災以来、災害支援を継続されているNPO法人KIプロジェクトに贈られている。また、ふたは洗浄後細かく砕かれ、再生工場へと運ばれる。小さなふたが、災害支援等につながることを広め、可燃ごみに出さないように市全体で集めてはどうか。

答 ペットボトルのふたは、リサイクル資源として現在、リサイクルステーション、きらきらエコハウス、牧野エコ広場における資源回収のほか、常設の民間業者による市内7カ所の資源回収場所でも行われている。

市での回収については、それぞれの意向を確認し、状況が許せば検討したい。



森 厚夫 議員

新庁舎建設について

問 市民の市民による市民のための新庁舎の考えは。

答 「市民の市民による」という意味では、新庁舎整備基本構想の策定段階から、ワークショップをはじめ、多くの市民の皆さんに関わっていただき、市民参画型の事業を展開してきた。また、「市民のための新庁舎」という意味では、多くの皆さんが利用され、まちの中で、新庁舎の機能が様々な役割を果たしていくという意味で、まさに「市民のための新庁舎」であると思う。

問 新庁舎建設における「にぎわい」の具体的な施策は何か。

答 「にぎわい」とは、買い物や食事を楽しんだり、文化に触れたり、イベントに参加したり、民間や公共のサービスを受けたりするなど、様々な目的で多様な人が集まり、滞留し、人や情報の交流が生まれ、コミュニティにつながるもの。

新庁舎は行政サービスや市民協働の拠点となる庁舎機能、市民交流の拠点となるコンベンション機能を発揮し「にぎわい」の創出に貢献するものと考えている。

問 商業ビル解体にともなう補償費等の試算はどの位になるのか。

答 権利関係者に対しての補償費等については、弁護士等に相談しながら、法律に基づく整理を進めている。補償費等の額については、国の定める「公共用地の取得に伴う損失補償基準要綱」、あるいは用地対策連絡協議会の定める「公共用地の取得に伴う損失補償基準」に基づいて算定する。

問 「新しい市役所をいかしたまちづくり」について、市長と語る会の第2回目開催は、いつ頃予定しているか。

答 新型コロナウイルス感染症の感染拡大が懸念される状況下で、多くの市民の皆さんに集まただくことは困難であると判断し、9月下旬から10月上旬にかけて計画していた説明会の開催を見送った。

今後の予定については、新型コロナウイルス感染症の状況を見極めながら、できるだけ早期に適切な方法で説明会を開催したいと考えている。

（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



渡辺義昌 議員

新型コロナウイルス感染症（デルタ株）による学校・保育園の体制について

問 市内の保育園、小中学校での感染状況は。

答 8月以降、保育士6名、園児5名の「陽性」が確認された。児童生徒の感染者数は、20名を超えており、家族の感染者数は40名を超えている。

対応については、園児の降園後に園内全体の消毒を行った。保健所とPCR検査対象者を特定し、検査を実施、検査の結果が出るまで臨時休園とした。

問 分散登校による授業の進め方は。

答 教室内の密を避けるために、本市では午前と午後の分散登校を実施した。伊深・三和小学校については、分散登校ではなく午前授業を実施した。

午前・午後に二度同じ授業を行うため教師への負担は大きいですが、昨年度も実施しているため、子どもたちへの負担は大きくなかった。

問 放課後児童教室の受け入れ体制は。

答 保護者への配慮から受入時間を拡大し、通常は

午後2時からものを夏休みなどと同じように午前7時半から受け入れを行った。

コミュニティバス「あい愛バス」について

問 「あい愛バス」の現状確認と課題は。

答 令和2年度の利用者は、10万人を超えた令和元年度と比較して、約87%と、コロナ禍の中ではあるが、若干の落ち込みで済んだ。

また、月ごとの利用者数が7月には1万人を突破するなど、多くの方に利用されている。

問 鉄道と「あい愛バス」の連携は。

答 鉄道とストレスのない連携を組もうとすると、現在の運行では限界がある。

問 利便性向上のための改善は。

答 スマホで購入できるモバイル定期券の導入や、来年1月より「中部国際医療センター」バス停を新設するなど、利用促進を図っていく。



永田徳男 議員

自治体DXについて

問 新庁舎建設でのコンパクトな庁舎を目指す時、デジタル化による業務の見直しはあるのか。

答 新庁舎は、DXの推進により、来庁して申請する場所というよりも、相談窓口としての機能を充実させることが、必要であると考えている。

従って、DXの推進は、新庁舎整備のタイミングに合わせて進めていくべきであり、紙の書類の削減とともに、電子決裁による事務負担の軽減など、職員の負担軽減が図れるものとする。

また、都市計画マスタープランに掲げる「コンパクト+ネットワーク&サテライト」を実現させることが、市民サービスの利便性の向上に繋がるものと考えている。

こうしたことから、DXの取り組みは、コンパクトな庁舎の実現にも、確実に繋がってくるものと思われる。

市道森山321号線整備について

問 市道321号線の認識と、景観と安全と維持管理の「柵」の考え方は。

答 森山町4丁目地内の通称チェリーロードと言われている道路で、以前から地域の皆様による清掃活動がされており、市としては、地域の交流や憩いの場として道路を活用いただけるよう、協力したいと考えている。

道路の柵については、市道森山321号線のフェンスを設置した年代がまちまちであり、目的が明確でなかったため統一性がないことは認識しており、将来的には、景観、安全、維持管理などを考慮し、適切な施設設置を検討していきたいと考えている。



（ 市政一般に対する質問と答弁 ）



渡辺孝男 議員

通学路の安全点検実施状況及び対策について

問 千葉県で下校途中の児童が大型トラックに巻き込まれる痛ましい事故が発生したが、市として通学路の緊急点検は実施したか。

答 各学校に、夏休み期間中に点検を実施するよう依頼し、現在点検結果の取りまとめをしている。報告の中では比較的交通量の多い交差点に、横断歩道がないことや、白線・カラー舗装の剥がれ等が指摘されている。今後は関係機関と情報共有して改善に努める。

あい愛バスの利用促進について

問 あい愛バスの利用拡大に向け、市民から幅広い声を聞き少しでも利用拡大に向けた活動も重要と思うが市の考えは。

答 あい愛バスの利便性の向上や利用拡大に向け、今までも利用者の声を直接聴く「おしゃべり喫茶」

を開催し、運行経路やダイヤなどを改善してきた。こういった姿勢を今後も継続し、利用者目線での運行をするため利用者の声を聴く場を、今後持ちたいと考えている。

火災情報を得る手段としての防災ラジオ普及拡大について

問 災害情報を得る防災ラジオが全戸配布になり約4年経過している。令和3年7月末時点で1,971台、8.5%の貸与数と低い数字になっているが市として貸与数を増やす方策は。

答 貸与台数を増やす方策としては、一步進めたプッシュ型による貸与を実施する。具体的には災害弱者と言われる災害時の行動要支援者や、高齢者世帯、また浸水区域や土砂災害警戒区域の世帯を対象に、郵送や訪問による貸与をスピード感を持って進める。



防災ラジオ



高井 厚 議員

不登校対策の拡大に向けて

問 タブレットがあればどこでも学べるという「オンライン学習」の可能性は。

答 不登校を示す子どもたちの教育機会の確保の視点で、市が配置した一人1台のタブレットを活用して、オンライン教材による学習の推進などを検討していきたい。

問 不登校対策に特化した「ふるさと納税」の展開についての考えは。

答 本市では一昨年度は「森オフィス」等のプロジェクトに2,492万円、昨年度は「里山STEAM」プロジェクトに706万円といった貴重な寄付を頂いている。「不登校対策」のプロジェクト化についても、その可能性について教育委員会と協議したい。

よりよい新庁舎建設に向けて

問 現在進捗中の計画の、国の「立地適正化計画」との整合性は。

答 本市では、令和2年3月に美濃加茂市立地適正化計画を策定した。同計画では、都市機能誘導区域として「美濃太田駅周辺地区」「古井駅周辺地区」「蜂屋南地区」の3つの区域を指定している。

そのうち、美濃太田駅周辺地区は都市の活力を向上させる、都市機能を備えた都市拠点とされており、市全域を対象とした商業や行政サービスなどの拠点を誘導、整備する区域である市役所も積極的に誘導が必要な都市機能のひとつであり、美濃太田駅周辺に新庁舎を整備することは、立地適正化計画に整合しているものと考えている。

問 新庁舎建設に合わせ、どんな連絡所業務が充実していくのか。

答 連絡所や交流センターは、「サテライト拠点」として位置づけ、地域の課題は地域で解決できる場として、本庁舎に行かなくても手続きなどができる場として考えている。

現在連絡所では一部、戸籍の手続きや届け出後の付随する手続きなど、本庁舎でないと出来ない業務がある。今後はこのような業務を含め、本庁舎とモニター越しでの対応により、サテライト拠点において、すべての窓口業務に対応できるよう、環境の整備を検討していきたい。



前田 孝 議員

新型コロナウイルス感染症に対する幼児・小中学校児童の感染対策について

問 園内・校内における感染状況は。

答 感染状況は、蜂屋保育園・太田第二保育園・古井第一保育園で、園児5名保育士4名確認。小中学校では、生徒20名を超える感染を確認している。

問 先生方のワクチン接種状況は。

答 小中学校の教諭466人中2回目接種済みが320人、1回目接種済みが387人。保育士155人中2回目接種済みが133人、1回目接種済みが136である。

問 コロナ禍における分散登校についての見解は。

答 8月30日～9月10日は給食無しの午前午後に分け分散登校した。デルタ株の感染力の強さもありマスクをとる機会、特に飲食による感染の危険性が有り、給食を食べることなく分散登校を選択した。

問 小中学生に対するワクチン接種の現状は。

答 満12歳に到達している小中学生が対象で、現在受験生として優先接種対象15歳以上の接種割合

は、9月6日現在、1回目接種済みが41.9%、2回目接種済みが21.2%で今後12歳～29歳までの予約を受け付けしていく。

美濃太田駅南地区再開発事業について

問 駅南地区街づくり協議会立ち上げ後の組合設立はいつか。

答 準備組合設立後2～3年の期間がかかる。

問 西街区の検討案は、6階建てで商業棟の1～2階は公共公益となっているが、入居予定業種は。

答 図書館や子育て施設・社会福祉施設等を検討している。

問 住宅棟（16階建て）は、分譲か賃貸か。

答 分譲、賃貸の両方あるのではないかと考える。

問 総工費に対する国・県・市の補助金額は。

答 総事業費は約83億円で、国が約18億円、県が約5億円、市が約13億円になる。

問 厳しい財政の中で補助金を出すのか。

答 補助金は国の要綱によって補助する。

新庁舎建設説明会について

問 延期と発表されたが今後の予定は。

答 少人数で回数を多くし適切な方法で開催したい。



坂井文好 議員

「みどりの食料システム^{*}強化」について

問 「みどりの食料システム戦略推進交付金」では、地方自治体のビジョンや計画に基づき、スマート農業の展開、有機農業の団地化や学校給食などで利用、栽培歴の改善等によるグリーン栽培体系への転換などが支援対象となっている。モデル的先進地区へのチャレンジは。

答 本市は「里山千年構想」「みのかも農業ビジョン」「里山STEAM」さらに「経済・社会・環境の統合的向上」を目指す「SDGs未来都市」等、「持続可能な社会」の構築に向けて、様々なプロジェクトを展開している。

「みどりの食料システム戦略」は、2050年の「CO₂ゼロエミッション化」を目標にしているが、本市では、既にこれら「各種プロジェクト」の下地があり、今年度は「SDGs未来都市」に選定されて、その方向性は一致していると考えます。

この制度について、国からは具体的な条件等が示

されてはいるが、本市の特性に合った支援措置があれば、その獲得に向けて積極的に取り組んでいきたいと考えている。

問 「あい愛バス」を利用した野菜の集荷や弁当の配送はどうか。旬の新鮮な野菜等、駅をデリバリーセンターとして、直売所や飲食店へ。飲食店や仕出し屋で出来た弁当を各地公民館（集荷場）までお届けするという高齢社会に対応した食の循環を一考しては。

答 あい愛バスを活用した、配送（貨客混載）については、新たな活用方法の一つだと考えられる。しかし、国の許可を得て定時定路線で運行しているため、配送品の積み下ろしに要する時間による定時運行への支障や、車内に荷物を置くスペースの確保など、問題も多いと考えられる。特に、地域を運行しているワゴンタイプの車両では、少ない座席数を更に減らすことにもなり、利便性の低下が懸念される。

このような問題を解消できる方法がみつければ、貨客混載の取り組みを検討してみたいと思う。

※みどりの食料システム

今年の3月に発表された30年先の農業ビジョンで、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現させるため、中長期的な観点から戦略的に取り組む政策方針。

活動
ピックアップ
1

～議会による事業評価～ 今年度の提言を行いました。



市議会では、「予算決算特別委員会」を設定し、予算と決算の総合的・一体的な審査を行っています。その活動の一環として、議会が市の各事業を個別にチェックする「事業評価」に取り組んでいます。

今年度も、対象事業の抽出やそれぞれの事業に対する評価などについて審議を重ね、6事業について、議会としての意見を付し、市長に直接提言をしました。これらの提言が、執行部において十分に検討がなされ、来年度の予算や各事業の取り組みに反映させることを求めています。

今後も、この提言に基づく予算や事業への反映について、執行部から報告を求めるとともに、引き続き調査を行っていきます。

〈令和3年度 議会による事業評価 提言一覧〉

事業名	評価	提言の主な内容
学校運営協議会事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 地域や保護者の協力が必要であるため、協議会設立の意義を広く周知すること。 教育委員会だけでなく、市長部局と連携して事業の推進を図ること。
移住して暮らし始めるための支援事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 若い世代をターゲットとした情報発信が必要である。 教育や子育て支援の視点から市の取り組みをPRすること。
WalkableCity推進事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 年齢に合わせた幅広い取り組みを行うこと。 ウォーキングアプリについて、シンプルで分かりやすい仕様がよい。
グリーンパートナー事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア精神の高揚を含め、この制度を発展させるため、助成金制度の導入、有償ボランティア活動への舵切りはできないか。 ポイントカード制度の創設、実施報告書の提出など、広報活動を工夫し、活動団体数の増加、登録なしボランティアの活動推進を図れないか。
一般道路改修事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 道路はその自治体の顔とも言える。市道の改修・向上の目標を定め、当初予算の増額や、入札差金を活用した安全な生活道路の実現、未舗装市道（農道）の早期舗装に取り組みきたい。 自治会要望重点対応補正予算を組み、自治会長にもその結果を報告し、市民要望に配慮した形で対応されたい。
空家等対策事業	拡充	<ul style="list-style-type: none"> 「美濃加茂市空き家条例」を制定し、家屋を所有することの責任や義務意識を今以上に高めていけないか。 空き家の発生を少なくするべく、死亡届、転出届のリストアップを行い、所有者の意向を確認、空き家バンクの登録も含め、対策を早めに講じて行けないか。

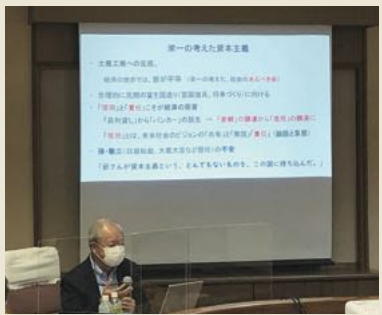
活動
ピックアップ
2

SDGsセミナー(2回目)を行いました。

美濃加茂市は、内閣府から令和3年度SDGs未来都市(31自治体)及びSDGsモデル事業(10都市)に選定されました。

市議会としても、SDGsの知識を深め、その重要性や必要性を市民の皆様が発信するために、講師を招き2回目の勉強会を開催しました。テーマ：持続可能な社会の実現に向けて

講師：澁澤寿一氏
(澁沢栄一氏のひ孫)



次回の定例会の予定

令和3年市議会第4回定例会

- 11月29日(月) 初日
- 12月7日(火) 一般質問
- 12月8日(水) 一般質問
- 9日(木) 質疑
- 17日(金) 最終日

場所：市役所本庁舎3階 議場

時間：午前9時から(最終日は委員会終了後)

※日程は都合により変更となる場合があります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

第3回定例会の議場装花



議場に飾られている花は、加茂農林高校園芸流通科の生徒さんに作っていただきました。

編集後記

世界中が新型コロナウイルス感染症のパンデミック下で、東京2020オリンピック・パラリンピックをやり遂げたことは誇るべきことだと思います。そして、コロナ禍での困難を乗り越えアスリートたちは素晴らしいパフォーマンスを披露し、多くの人々に感動を与えました。

「多様性と調和」をコンセプトに掲げられた今回の大会は、その意味を深く考えるきっかけとなりました。あらゆる面での「違い」を肯定し、自然に受け入れ、互いに認め合うことで誰もが生きやすい持続可能な社会を目指していく事が、私たちの願いであります。

田口 智子

次回の議会だよりは、令和4年2月1日を予定しています。ご意見ご感想は、市議会ホームページ(ご意見・アンケート)、はがき、ファックス、メールにてお寄せください。

